

地産地消応援団の「笠間グルメイト」が、地産地消協力店をサポートします



◆写真左から 笠間グルメイト 内野 弘子さん
 エコファーム星山 代表 友部 茂雄さん
 友部 成美さん
 笠間グルメイト 根本 隆子さん



エコファーム星山の自然薯は、笠間市が自信をもって提供できる安全・安心な農産品「かさまの粹」に認証されています。



かさまの粹

Information

エコファーム星山

エコファーム星山
 笠間市手越8-1
 TEL : 0296-72-6260
 H P : <https://ecofarm.e-kasama.jp/index.html>

今月の訪問先

エコファーム星山

星山の自然薯

道の駅かさまの向かい側に「じねんじょ」と大きく書かれた看板が目印です。代表の友部さんは銀行員を退いた後、先輩に誘われ自然薯の生産を始め、約15年経ちます。つくった自然薯を販売するため「エコファーム星山」を開業し、生産から直売、加工販売へと広く事業を展開しています。自然薯を栽培するのに適した畑が星山地区にあったことから「エコファーム星山」と名付けたそうです。現在は奥さん、息子さんと3人で切り盛りし、畑も星山地区からさまざまな場所に拡大しています。

こだわりの栽培方法

品質の良い自然薯をつくるため、土、肥料、種芋すべてにこだわり、通年販売できるような収穫後の保存にも力を入れています。「1〜3月に収穫した自然薯が一番おいしい」とのこと。自然薯は長芋に比べると値が張るものですが、草取りから収穫まですべて手作業で行う手間を考えると納得です。専門店だからこそ大きさや形にこだわり、店頭では厳選した規格のものだけを販売しています。自信をもって自然薯を提供している強い気持ちを感じられました。

新たな挑戦

今後の目標は「息子と一緒に新商品

の開発に挑戦すること」だそうです。「これまで、自然薯のそば・うどんをはじめ、かりんとう、煎餅、かまぼこなどの加工品に挑戦し、そば・うどんの乾麺は大手との取引に繋がっています。加工品にはB品(形や長さが規格に達しない商品)だけを使用していました。最近では規格に達しているA品まで使用しないと間に合わないほど需要が増えていきます。他社と積極的にコミュニケーションをとり、次は栗やさつまいもを使った加工品を視野に入れていくそうです。そして、「今後変わらぬ質の良い、おいしいものを安定供給する」をモットーに取り組んでいきたい」と思いを語ってくれました。

取材を終えて

- 「冬来たりなば春遠からじ」という言葉のように、ご夫婦の温かい配慮とポジティブさが感じられる取材となりました。
- 自然薯栽培に対する真剣な思いとこだわり、自信が感じられ、より多くの方に手にしていただきたいと思いました。

取材にご協力いただける地産地消協力店を随時募集しています 記事に関する問い合わせは農政課(内線527)へ